



(仮称) 歴史と未来の交流館の整備に向けて

皆さんのご意見をもとに 親しみのある交流館を目指します！

(基本設計時の外観イメージ図)



村では、これまで「(仮称)歴史と未来の交流館」の整備に向け、理解促進を図るための説明会や意見交換会、とうかいまると博物館事業実施時などに、延べ1,450人の皆さんに説明してまいりました。

このような取り組みのなかで、交流・体験活動の充実を求める声が多くあったことから、より具体的なニーズを把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

今後、皆さんからアンケートでいただいた1,200件を超えるご意見やアイデアを参考としながら、内観や外観などを含め、多くの方に親んでもらえるような交流館となるよう、実施設計(工事の実施に必要な建物の構造や設備、工事費等の詳細事項をまとめる)の中で、さらに検討を重ねていきます。詳細は、村公式ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】生涯学習課「(仮称)歴史と未来の交流館」整備推進室
(☎282-1711 内線1424)

(仮称)歴史と未来の交流館とは？

交流館のテーマは「歴史と未来の交流」です。

村の歴史や文化財を「収集、保存、展示、伝承」することで次世代に繋ぎ、未来を担う子どもたちが「観る、触れる、学ぶ、好奇心をはぐくむ」などの体験活動を企画から実施まで一体的に行い、幅広い世代が「憩い、交流、情報発信」することができる村の生涯学習の拠点施設として、平成33年の開館を目指しています。

1. 交流・体験活動に関するアンケート調査結果(一部抜粋)



実施時期▼平成29年8月～11月

回答数▼1,207件

対象▼村内各イベント来場者や村内の小学5年生と中学1年生、その保護者など

Q1. 子どもに体験させてみたいことは？

- 1位 野外炊事などのアウトドア体験(20.1%)
- 2位 昔の道具などで昔の生活体験(18.4%)
- 3位 土器づくりなどの歴史工作体験(13.9%)

Q3. 繰り返し利用される施設にするためには？

- 1位 体験活動が充実している(22.3%)
- 2位 憩いの場として、気軽に立ち寄れる(20.3%)
- 3位 喫茶・軽食などの食事スペースがある(16.5%)

Q2. どのような活動や環境があればよいですか？

- 1位 遊びながら郷土を学ぶことができる(27.7%)
- 2位 童話や民話、昔の遊びなどに親しめる(18.9%)
- 3位 親子で体験に参加することができる(17.6%)

Q4. 幅広い世代の交流拠点にするためには？

- 1位 子どもが自由に遊べる場所がある(26.8%)
- 2位 親子や家族で参加できるイベントがある(20.3%)
- 3位 平日も開館している(17.1%)

2. 交流機能の充実に向けた検討と今後のスケジュール

アンケートでは、子どもたちのふるさとへの誇りや愛着心を育む拠点施設となるように期待する多くの意見が寄せられました。特に、子どもから高齢者までが参加できるような体験やイベントなどがあること、多くの人々が気軽に立ち寄ることができる憩いの場にしてほしいとの意見が多いことが分かりました。そのため、主に次のような内容を検討に加え、交流機能を拡充していく予定です。

主な検討内容

- ①さまざまなイベントにも対応できるように、間仕切りの少ない自由なスペースを設けるなど、利便性の向上や空間の有効活用を図るための検討をします。
- ②幅広い世代が気軽に立ち寄れる憩いの場になるよう、喫茶スペースや子どもたちの「遊び・体験・チャレンジ」する場としての機能と、それらに必要な設備などを検討します。

【今後のスケジュール】

	H30	H31	H32	H33
実施設計	→			開館
建設工事・展示制作		→		